

「防災アシスト情報」

もしも……注意報・警報・特別警報が発表されたら!! ③

「防災アシスト情報」として、気象庁から発表される各種注意報・警報・特別警報について3回目の紹介をします。

大雪

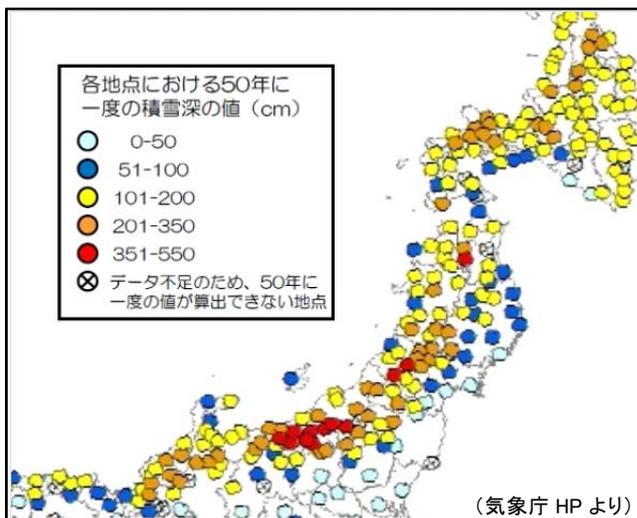
平成26年2月の記録的な大雪は、東北地方の各地で道路交通を混乱させるなど、生活に大きな影響を与えました。関東地方では2週連続の大雪警報が発表され、大雪により屋根の崩落や建物・工作物の倒壊等に被害が発生し、官庁施設においても駐輪場等の簡易な工作物の倒壊等が複数報告されました。

今回は、「大雪」の特別警報について、関連する注意報・警報と併せて紹介させていただきます。

■特別警報の指標

雪を要因とする特別警報を発表する際の指標は、以下の通りです。

府県程度の広がりをもって50年に一度の積雪深となり、かつ、その後も警報級の降雪が丸一日程度以上続くと予想される場合に、大雪特別警報を発表。



「50年に一度の値」とは、50年に一回程度の頻度で発生すると推定される降雪量の値で、過去50年の間に実際に観測された値の最大値というものではありません。

東北地方の50年に一度の積雪深の値は、奥羽山脈に沿って201cm以上の地点が見られます。一方、宮城県や福島県の太平洋に面した一部の地域では、50cm以下の地点も見受けられます。

東北地方では、ほとんどの地域が豪雪地域、特別豪雪地域に指定されており、建築物や駐車場等も寒冷地仕様として積雪加重が考慮されていますが、50年に一度の積雪深の値が小さい、それ以外の地域では積雪加重が考慮されていない場合もありますので、特に大雪に対する注意が必要になります。

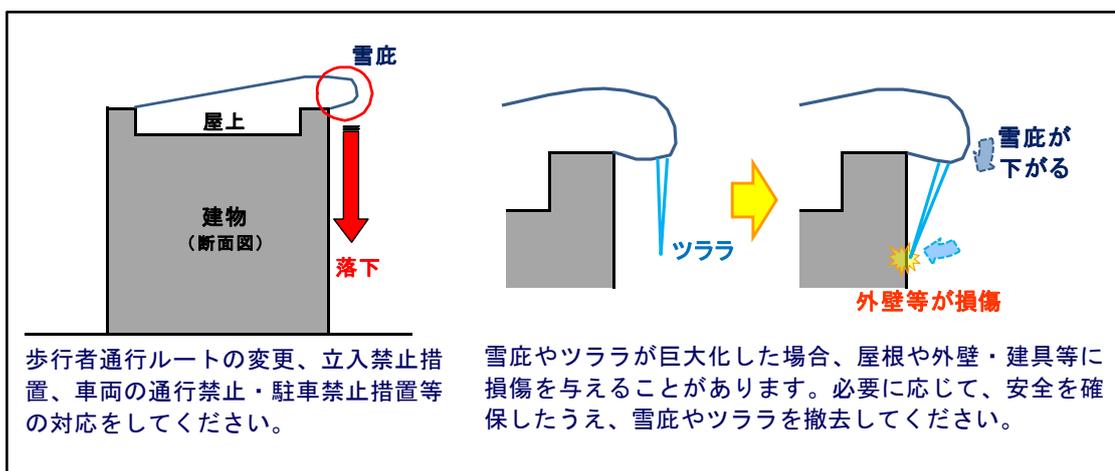
■特別警報の指標を満たす事例(気象庁 HP より)

昭和38年1月豪雪	死者・行方不明者 231人 住家全半壊 1,735棟 床上・床下浸水 6,978棟
昭和56年豪雪	死者・行方不明者 152人 住家全半壊 466棟 床上・床下浸水 8,097棟

- ・排煙窓の開閉の確保
(積雪やツララにより、外開き、外倒しの窓などが開かなくなる恐れがあります。)
- ・設備機器類廻りの除雪
(エアコンの屋外機等が雪に埋設してしまうと、破損や故障する恐れがあります。)
- ・屋上や庇、窓廻りなどの雪庇やツララへの対応 (下図参照)



【屋外機の埋没】



＜雪が降り止んだ後に対応が必要な事項＞

- ・屋根、パラペット、外壁、外部建具等の損傷の有無の確認
- ・外部舗装、視覚障害者用誘導ブロック等の損傷の有無の確認
(除雪機を利用すると視覚障害者用誘導ブロックの凸部や駐車場の表示が削られてしまう場合があります。)



【路面塗装表示の損耗】



「もしも…注意報・警報・特別警報が発表されたら!!」連載の予定	
① 気象警報等の種類、特別警報の種類、大雨(1)	…130号(平成26年6月発行)
② 大雨(2)・暴風・高潮・波浪・暴風雪	…131号(平成26年8月発行)
③ 大雪	…132号(今回)
④ 地震(地震動)・津波・火山噴火	…133号(平成27年2月発行予定)

<p>営繕とうほく編集室</p> <p>〒980-8602 仙台市青葉区二日町9-15 東北地方整備局営繕部調整課内 TEL (022)225-2171 E-mail: cyousei@thr.mlit.go.jp</p>	<p>ホームページアドレス</p> <p>■東北地方整備局 http://www.thr.mlit.go.jp/ ■盛岡営繕事務所 http://www.thr.mlit.go.jp/moriei</p>
<p>「営繕とうほく」は東北地方整備局ホームページでもご覧になれます</p>	